

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
特別講義 Special Lecture		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	梅田 美穂	
概要				
<p>教育者・保育者になるためのコミュニケーション能力や表現力を養う。また、社会のニーズを考慮しつつ、地域に貢献できる教育者・保育者になるための基本的な知識と技術を習得する。</p>				
到達目標				
<p>(1) ボランティア活動を通して、地域に貢献することができる。  (2) 自分がイメージしたことを、表現することができる。  (3) 実践力向上のために必要な知識を理解し、自分の意見を述べることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 オリエンテーション 活動グループ分け  2 ボランティア活動に参加する意義 親子ふれあい家庭の日イベントへの参加に向けて  3 ボランティア活動の計画  4 実践 —企画・準備—  5 実践 —企画・準備—  6 実践 —準備—  7 実践 —子どもとのふれあい—  8 実践 —遊びの展開—  9 実践 —遊びのまとめ—  10 振り返り  11 子どもの生活の環境づくり 壁面の製作—計画・準備—  12 子どもの生活の環境づくり 壁面の製作—製作—  13 子どもの生活の環境づくり 壁面の製作—製作—  14 子どもの生活の環境づくり 壁面の製作—完成—  15 まとめ</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキスト：特になし 適宜プリントの配布</p>			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>保育者をめざす学生は全員受講することが望ましい。</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) ボランティア活動を通して、地域に貢献することができる。	実践を通して、積極的に参加者と関わっている。	実践しようとする意欲があり、参加者と関わりが持てている。	実践しようとする意欲があるが、参加者と関わりが持てない。	実践に参加していない。	実践の参加 (関心・意欲・態度)	40%
(2) 自分がイメージしたことを、表現することができる。	イメージが明確であり、完璧に表現できる。	イメージができており、だいたいの表現できている。	イメージが漠然としているが、表現しようとしている。	イメージできず、努力していない。	課題の作製 (表現力・技能)	30%
(3) 実践力向上のために必要な知識を理解し、自分の意見を述べるることができる。	ほぼ完璧に理解し、自分の意見を述べている。	大きな間違いなく理解し、自分の考えを述べている。	最低限必要な知識は理解でき、自分の考えを述べている。	必要な知識が理解できておらず、自分の意見を述べていない。	レポート(思考力・判断力・表現力)	30%